

特定専門研究委員会提案 「外断熱耐久性調査委員会」(案)

2016年3月

1. 目的

現在、外断熱委員会では、北海道発行・当協会編集の「外断熱改修への手引き」(2007年)の「30年の耐久性」を巡って、「耐久性検証WG」が昨年より検討を重ねてきました。しかし、日本で外断熱の新工法は2003年以降に本格化したものであり12年程度の時間経過しか有りません。と、すればその耐久性を証明することは難しく、歴史のある旧工法建物を調査し演繹することが必要であると考えてきました。

折しも、次年度より(地独)北海道立総合建築研究機構北方建築総合研究所(略称、北総研)において、外断熱を施した築年数の異なる実構造物等の外観調査等を行い、外装等に使用される材料の耐久性に関わるデータを収集する「建築材料の耐久性モニタリングと評価に関する基礎的研究(平成28~31年度)」に着手する情報を得て、外断熱建物の調査があった場合に、当協会・委員会が同行調査することが可能かを問い合わせたところ快諾を得たため、受け皿体制の整備が急務となりました。

よって、既存建物調査により技術の向上と耐久性能の確証を得ることで、外断熱建物の普及に寄与・貢献することを目的とし、更に、「耐久性検証WG」の検討材料として・検証データや事例蓄積などによる補完を期待して、「外断熱耐久性調査委員会」の立ち上げを提案します。

2. 期待される成果

- ・耐久性の問題点と課題
- ・施工上の問題点と課題の抽出

以上の検討を行い、アウトプットとして、調査資料のまとめと耐久性(劣化状態)の評価をすることで、問題・課題を明らかにする。

3. 期間

2016年6月~2018年3月

4. 委員案

委員長候補(主査)は、足立裕介先生(北海学園大学)とし、幹事候補は平川秀樹、館脇英、河合伸哉、委員構成について第1回目に議論する。なお、WG委員候補は下記の通り(あいうえお順・敬称略)。若干名の公募を行う。

重永真孝(データサービス) 佐藤潤平、谷口円、長谷川拓哉 松井為人、吉野利幸

5. 研究費用

未定

[外断熱耐久性調査委員会委員名簿]

2016.7.21 現在

No.	役職	氏名	所属	備考
1	委員長	足立 裕介	北海学園大学工学部	
2	幹事	福山 智子	北海道大学大学院	
3	幹事	平川 秀樹	ダウ化工(株)札幌事務所	
4	幹事	松田 未紘	パラマウント硝子工業(株)営業本部	
5	委員	大橋 周二	(有)大橋建築設計室	
6	委員	河合 伸哉	パラマウント硝子工業(株)営業本部	
7	委員	鬼頭 弘一	(一社)北海道建築技術協会	
8	委員	小浦 孝次	(株)J S P E P S 事業部	
9	委員	佐藤 潤平	(株)アイテック	
10	委員	重永 真孝	日本データサービス(株)	
11	委員	舘脇 英	岩倉化学工業(株)	
12	委員	谷口 円	道総研北方建築総合研究所	
13	委員	野桑 聡	ゼオン化成(株)	
14	委員	長谷川拓哉	北海道大学大学院	
15	委員	堀江 勉	Gシステム	
16	委員	松井 為人	(株)サンキット・エーイー	
17	委員	森 秀樹	(一社)北海道建築技術協会	
18	委員	山崎 正弘	M Y 建築設計支援室	
19	委員	山田 英和	(株)テスク 特販部	
20	委員	吉野 利幸	(一社)北海道建築技術協会事務局長	
21	委員	駒木根洋一	(一社)北海道建築技術協会	
22	ワザ-バ-	野田 克良	(一社)北海道建築技術協会	
23	ワザ-バ-	村田 茂樹	(株)サンクビット	
24				
25				
26				
27				